

※対面＋オンライン形式により開催します。

- ・定員は対面 40 名、オンライン 60 名とし、それぞれ先着順のもと個人会員と特別会員から受講者を募集します。ただし、特別会員を優先して受け付けます。1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合がございます。参加人数に余裕が生じる際は非会員の方も受け付けます。
- ・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には所定の作業の終了後に土木学会継続教育 (CPD) に関する参加証明書を交付しますが、他団体への単位申請が認められないケースがあるとのことです。他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染状況や災害の発生など、場合によっては中止となる場合がありますのでご了承ください。

令和 4 年 9 月 30 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 180 回）のご案内（対面＋オンライン形式）

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 4 年 10 月 24 日（月）14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：対面＋オンライン形式

【対面】建設業協会佐賀 2F 会議室（〒849-0918 佐賀市兵庫南二丁目 13 番 5 号 TEL 0952-24-2711）

【オンライン】Microsost Teams

話 題：有明海沿岸道路（佐賀福富道路）芦刈南 IC の盛土被災から得られた教訓

講演者：中央開発（株）九州支社 設計部 新井 昌成 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

平成 28 年 3 月 26 日の供用開始から 3 ヶ月後の 6 月 23 日未明、有明海沿岸道路（佐賀福富道路）芦刈南 IC オフランプ付近（測点 No.314～測点 No.318 間）において、およそ 50m にわたり盛土が被災した。

今回の研究会では、①被災に至るまでの盛土挙動と応急対応；②被災後の現地調査で明らかとなった状況から推定されたメカニズム；③改良柱体間における未改良土のすり抜けの可能性；④復旧工事で採用した対策工法などについて紹介する。この被災から得られた教訓や知見から、今後の有明海沿岸地域における地盤改良の留意点について、改めて共有を図りたい。

※参加申込について

参加希望の方は「対面」と「オンライン」のどちらを希望されるか明記の上、**10/14（金）・12:00** までに必ずメールでご連絡ください。

なお、オンラインでの受講の場合、お一人につき 1 つメールアドレスが必要になります。1 つのメールアドレスで複数人のお申込はできませんので、ご了承ください。

※参加費について

当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費（1,000 円）が必要です。対面での受講をされる方は当日の受付でお支払いください。オンラインでの受講の方は後日請求書をお送りしますので指定の口座にお振込みください。

※参加証明書について

土木学会の CPD プログラムに認定されています。

ご必要の方には研究会の終了後に Microsoft Forms を用いて下記の各項目に関するご回答をいただきます。内容確認でき次第、参加証明書をお送りします。なお、コピー&ペースト類似度チェックツールを用いてご回答の内容を照合し、コピー&ペーストと判断されたご回答については参加証明書を発行いたしかねますので、くれぐれもご注意の上、ご自身のご理解によりご入力ください。

- a) ご氏名
- b) おふりがな
- c) ご所属先
- d) ご役職
- e) ご所属先郵便番号（兼・参加証明書郵送先）
- f) ご所属先住所（兼・参加証明書郵送先）
- g) ご所属先 TEL
- h) ご所属先 FAX
- i) 講演内容のポイント（最低 100 文字）
- j) 講演内容に関する質問・感想（最低 100 文字）
- k) その他

※令和 3 年 8 月 10 日より連絡先が変わりました。

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603

（公財）佐賀県建設技術支援機構内

=====